



山梨の皆さまと共に...

# VENTFORET KOFU HOME TOWN REPORT 2017

## CLUB MESSAGE

Jリーグは「百年構想」を掲げています。プロサッカークラブはタイトルを目指すだけでなく、ホームタウンをスポーツで豊かにする役目を担っています。

ヴァンフォーレ甲府は山梨県全27市町村がホームタウンであり、「ホームタウンの生活に深く根ざした、地域に新しい喜びをもたらすクラブ」を理念に、活動をしています。

地域交流活動では、地域の病院や施設の訪問、サッカー教室、大学との提携、小学校や幼稚園、保育園の巡回、地域イベントへの参加、国際交流、介護予防事業、エコ活動など…様々な活動を率先して行い、子どもたちの夢や希望、そして山梨県の更なる発展に貢献できるよう活動しております。こうした地域交流活動は年々増え、今では、チームのマスコットやアカデミーの活動も含めると年300回を超えるようになりました。Jリーグが毎年実施する「Jリーグ観戦者調査」のなかで「どうして観戦に来ましたか?」という質問に対して「チームが地域に貢献しているから」と答えた人はJ1・J2全チームの中で5年連続トップにもなりました。

またホームゲームでは、2週間に1回、地域の人たちがスタジアムに集まってチームを応援することによって一体感や郷土への愛着が生まれます。試合以外にも様々なイベントを展開し、来場者に楽しんでいただき、地域や家庭での会話がはずむようなコミュニティ作りができればと考えています。

Jクラブの価値とは何か。私たちは「地域に幸福をもたらす存在としての価値」ではないかと考えています。これからも地方都市の強みを活かした魅力ある個性的なクラブを作り、山梨の誇り、地域のシンボルとなれるよう邁進し、ヴァンフォーレ甲府を地域の重要無形文化財にしたいと考えています。

株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ

## 概要

## VENTFORET OUTLINE

法人名	株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ
事業内容	①サッカークラブの運営 ②サッカー試合の開催、運営 ③その他クラブ運営に関する一切の業務 ④旅行業代理店
発足	1965年(甲府第一高OBを中心に甲府サッカークラブとして)
設立	1997年2月7日
資本金	3億6,700万円
株主	山日YBSグループ…9,000万円(24.5%) 山梨県…8,000万円(21.8%) 甲府市…4,000万円(10.9%) 韮崎市…2,000万円(5.4%) その他企業・団体…81企業 個人…266人
代表	代表取締役社長 奥水順雄



### チーム名の由来

「VENT(風)」「FORET(林)」というフランス語の組み合わせで「風のように疾く、ときには林のように静かに…」で知られる戦国時代の武将、武田信玄の旗印「風林火山」に基づきます。



### エンブレム

チームカラーの青を基調にデザイン。山梨の豊かな自然の象徴として県花「フジザクラ」を上部に配し、ヴァン(風)フォーレ(林)のチーム名の由来である武田信玄の家紋・武田菱と、山梨の特産品であるぶどうをイメージしたワインレッドで表現。中央の「VFK」は、ヴァンフォーレ甲府の略語であるとともに「Vital Fighting Knights(生き生きと戦う気品ある勇士たち)」を意味します。

### ヴァンフォーレ甲府クラブマスコット



#### ヴァンくん


山梨特有の日本犬で、国の天然記念物でもある「甲斐犬」がモチーフ。みんなから親しみやすく、覚えやすい名前であること、サポーターのみなさんからの応募数が一番多かったこと、そして「ヴァンフォーレ甲府」の頭の部分を取って命名されました。

#### フォーレちゃん

ヴァンくんと同じ「甲斐犬」をモチーフにしており、ピアノが得意な女の子です。山梨の名物である、ぶどうの葉をイメージした前髪が特徴です。ヴァンくんと一緒にチームを盛り上げます。



## クラブの歴史

<p><b>1965</b> (S40)</p> <p>甲府第一高OBIによる鶴城クラブを母体として、日本サッカーリーグ(JSL)を目指す甲府サッカークラブが結成。</p>	<p><b>1967</b> (S42)</p> <p>甲府サッカークラブとして関東リーグ入りを果たす。初年度は8チーム中4位と健闘。</p>	<p><b>1972</b> (S47)</p> <p>第1回日本リーグ(2部)に参戦する。読売SCなど10クラブが参戦。</p>	<p><b>1993</b> (H05)</p> <p>Jリーグ誕生・日本リーグ入れ替え戦で日本電装に2-1で勝利しリーグ残留を決める。</p>	<p><b>1995</b> (H07)</p> <p>チーム名を「ヴァンフォーレ甲府」に改称する。</p>
 <p><b>2007</b> (H19)</p> <p>Jリーグ・ディビジョン1で17位となりJ2降格となる。</p>	<p><b>2010</b> (H22)</p> <p>Jリーグ・ディビジョン2で2位となり2度目のJ1昇格。</p>	<p><b>2011</b> (H23)</p> <p>J1定着を目指し、2度目のJ1へ挑むも、1年でのJ2降格となる。</p>	<p><b>2012</b> (H24)</p> <p>1年でのJ1復帰と24戦連続無敗でのJ2リーグ優勝を果たす。</p>	

# すべては、山梨の皆さま(ホームタウン)と共に。

山梨県全市町村が、ヴァンフォーレ甲府のホームタウンです！

## HOME TOWN



③ 韮崎中央公園クラブハウス

② 韮崎市【コーチ派遣】



① 八田河川敷グラウンド  
【アカデミー拠点】



① 八田サッカースクール



④ 緑が丘サッカースクール



⑤ 選手寮



⑥ 小瀬サッカースクール



⑦ キャメリアサッカースクール  
【コーチ派遣】



⑧ 玉穂サッカースクール



⑨ 小原サッカースクール



⑩ 三ツ峠サッカースクール



### 2017シーズン

堀米勇輝	選手	甲府市出身
石原克哉	選手	韮崎市出身
若杉好輝	選手	山梨市出身
入間川景太	選手(2種登録)	富士吉田市出身
朝比奈茂	アスレティックトレーナー	富士河口湖町出身
堀井岳也	トップチームアシスタントコーチ	昭和町出身
鶴田好樹	主務	山梨市出身
旗崎 慎司	副務	甲府市出身
保坂 不二夫	VFKアカデミーアドバイザー	韮崎市出身

大柴克友	U-18ヘッドコーチ	北杜市出身
坂本武久	U-18GKコーチ	甲府市出身
小澤亮介	U-15コーチ	韮崎市出身
山下大輝	U-12コーチ	甲斐市出身
横森 潔	地域コーディネーター	韮崎市出身
平井成仁	アカデミーコーチ	甲府市出身
土橋優強	アカデミーコーチ	中央市出身
石川龍	アカデミーコーチ	韮崎市出身
仲田建二	アカデミー(山梨学院大学)コーチ	北杜市出身

ヴァンフォーレ甲府は、2005年7月よりホームタウン編成を「山梨県甲府市、韮崎市を中心とする13市町村」から「山梨県甲府市、韮崎市を中心とする全市町村」に広域化しました。

ホームタウンである市町村の皆様にとって「おらが町のクラブ」として自信を持って誇れる存在となるよう、さらなる絆を深め、いつまでも共に歩んでいく決意です。

ヴァンフォーレ甲府ホームタウン全27市町村の皆様、共に戦い、共に喜びましょう！

## VENTFORET HISTORY

### 1997 (H09)

株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブを設立する。

### 1999 (H11)

J1リーグ・ディビジョン2に参戦するも最下位でシーズンを終了。

### 2000 (H12)

19連敗を含む26試合未勝利を記録するなど、2年連続最下位に終わり12月に存続の危機に直面。

### 2001 (H13)

1月主要株主のテコ入れで海野社長(現会長)らが会社再建に着手。

### 2005 (H17)

J1・J2入れ替え戦で、柏レイソルに2連勝し悲願のJ1昇格を決める。ホームタウンを甲府市、韮崎市を中心とする全市町村に変更する。

### 2014 (H26)

クラブ初の2年連続J1残留を目標に熾烈な残留争いを終盤まで演じ、2013年は15位、2014年は13位でフィニッシュ。

### 2015 (H27)

樋口新監督体制で臨むもシーズン序盤に低迷し、退任。佐久間GMが監督に就任後、奇跡のV字回復を見せクラブ初の3年連続J1残留を果たす。

### 2016 (H28)

J1リーグ開幕戦で初勝利し、首位スタートも、1stステージでチーム内得点王が移籍するなど苦境に。最後は「総力」で残留をつかみとる。

### 2017 (H29)

吉田新監督体制で臨み最終節までもつれる残留争いを展開するも16位となりJ2降格となる。また、4月に一般社団法人「ヴァンフォーレスポーツクラブ」を設立。



# ホームタウンサンクスデー

HOME TOWN THANKS DAY

ホームゲームでは、試合ごとに担当市町村を決め、ホームタウンサンクスデーを開催しております。  
 サンクスデーでは、住民の方をご招待したり、地域の伝統芸能をご披露いただく場を提供しています。ボールパーソン、フェアプレーフラッグ、エスコートキッズなど試合に関わる運営スタッフやイベントには、地元の子どもたちにご参加いただきます。また、場外ではPRブースの出店や、試合のキックオフ直前に特産品の贈呈セレモニーを行うなど、様々な方法で地域の魅力を伝えています。

試合会場では毎試合  
 全市町村旗を掲揚しています。

## エスコートキッズ



地元の園児や小学生が、選手と手をつないで入場します。キックオフ直前の緊迫したスタジアムの雰囲気を感じていただき、最後に記念撮影もします。

## 特産品の贈呈



キックオフ直前に両チームへ市町村の特産品を贈呈します。また、ビジターサポーターへも、特産品のプレゼントや観光パンフレットを配布してPRします。

## フェアプレーフラッグ



地元の小学生が、フェアプレーの大切さをアピールするために、「フェアプレーフラッグ」を掲げ、試合前に入場します。

## PRブース



場外のヴァンフォーレパークにブースを出店し、地元特産品の販売や観光PRを行います。

## ボールパーソン



地元の中学生がプロの試合を間近で見ながら、スムーズな試合運営のお手伝いをします。

## 応援パフォーマンス



大勢のサポーターの前で、古くから伝わる郷土の伝統芸能やダンスなど幅広い応援パフォーマンスが披露されます。

## ご当地マスコット来場



地元をPRするマスコットや、対戦チームのマスコットが来場し、多くの来場者へPRするとともに、試合会場を盛り上げています。

## 特産品サンプリング



ビジターサポーターを中心に各ホームタウンの特産品などをプレゼントし、再び山梨県に観光に来て頂けるようにPRを行います。

# 様々なサポート…

VARIOUS SUPPORT



韮崎市サンクスデーオリジナルビニールバッグ

全27市町村による市町村旗の掲揚に参加した担当者一同



甲府市役所案内板



ヴァンフォーレ甲府 応援支援自販機の設置



市町村の名刺にヴァンくんとクラブを応援しているというメッセージを印字





# スタジアムで生まれる感動

さまざまなイベントを通じて子どもからお年寄りまで笑顔が溢れるスタジアム!

STADIUM



## ヴァンフォーレパーク

焼きそばやたこ焼きなどの定番メニューをはじめ、ここでしか味わえないスタジアムグルメ、バラエティー豊かなグッズ販売、選手サイン会、そして様々なパフォーマーによるミニステージなど楽しいイベントが盛り沢山。試合だけでなく、家族、仲間と一緒に楽しめる空間です。



## AED救護ボランティアスタッフ

安心で安全なスタジアム運営を目的に、クラブ独自の取り組みとして、各スタンドにAEDを所持した救護ボランティアを配置しています。2016年3月に行われたホームゲームにおいて心臓停止となったお客様に対し人命救助を行い、一命を取り留めました。この取り組みに対し、Jリーグからの視察や、山梨県救急救命士会より表彰をいただきました。



## マスコットショー

ヴァンくん&フォーレちゃんによる多彩なパフォーマンスを披露しています。対戦相手のマスコットや地域のご当地キャラクターとの夢のコラボレーションもあり子どもからお年寄りまで楽しんでいただけます。ぜひ、一度マスコットショーを見にスタジアムに足を運んでください。



## キャンペーン活動への協力

社会貢献活動をされる各種団体の啓発キャンペーンに協力させていただいております。試合前やハーフタイムの時間を利用して、啓発バナーで会場を周回したり、大型映像装置を利用して告知・啓発の協力をしています。



## キッズチャレンジマッチ

未来のJリーガーのために、試合をする直前のピッチを開放して、ホームタウンの子どもたちを対象に行っています。プロ顔負けのスーパープレーも飛び出し大いに盛り上がります。今年は13試合26チーム約600人のキッズが憧れのピッチの上で思いっきりボールを追いかけました。



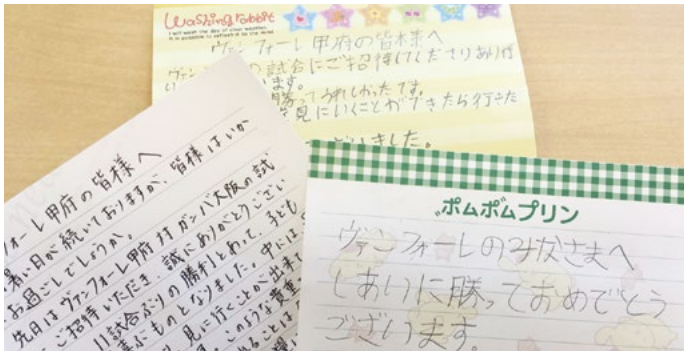
### 主な啓発活動

- エイズ予防啓発運動
- 薬物乱用防止啓発運動
- 県警指名手配被疑者捜査強化月間告知協力
- 脳卒中予防啓発
- 山梨県赤十字血液センター献血啓発運動
- 交通事故防止県民運動
- 人権擁護啓発運動
- 赤い羽根共同募金
- 県警振り込め詐欺防止キャンペーン



## 選手会シート

ヴァンフォーレ甲府選手会では、ホームゲーム全試合の指定席を購入し地元の児童養護施設や福祉施設の皆様をご招待しています。ご招待した施設の職員の方や子どもたちから、たくさんの応援メッセージや絵をいただきました。



## 義援金活動

東日本大震災や熊本地震災害で被災された地域に対して、「絶対に忘れない」という強い決意のもと、スタジアムで募金活動を実施しています。今後も継続的に被災地復興支援に取り組んでいきます。



## サポータースタッフ

ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム運営をサポートいただいているボランティアの方々には、チケットもぎりやイベントサポートなどを行っています。登録数は約130名、1試合約80名の方に、支えていただいています。

このほか、試合記録員、大型ビジョン操作補助、イベントサポート、会報発送など様々なお手伝いをしていただいています。



## 山梨県サッカー協会、甲府市役所サッカー部

スタジアムピッチ看板はすべて、山梨県サッカー協会、甲府市役所サッカー部の方々が設営、撤収をしてくださっています。



## 精神疾患を有する方、知的障がいを持った方

精神疾患を有する方々や知的障がいを持った方々の社会参加の機会として、試合前日の設営準備をサポートしていただいています。こうした活動が社会参加の一助になればと考えています。



# エコスタジアムプロジェクト

## 日本一のエコスタジアムへ!!

ヴァンフォーレ甲府は、認定NPO法人スペースふう、県内支援企業・団体の協力を得て2004年からエコスタジアムプロジェクトを始めました。スタジアムでの紙コップ使用をやめ、飲料購入時に100円上乗せして支払い、返却所で100円返金されるデポジット方式によるリユースカップを導入し、ごみ減量化やCO<sub>2</sub>削減に努めています。2006年からエコステーションを設置してごみの分別回収に取り組み、2007年からは一部リユース食器も導入しました。

2010年には「広がれ!小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会」が立ち上がり、会場にエコブースを開設し環境問題の啓発活動を進めています。



スタジアムに毎試合エコステーションを開設し、リユース食器やごみの分別回収を推進しています。



エコブースではエコ体験や環境啓発活動を行いました。



大型ビジョンで毎試合CO<sub>2</sub>削減の成果を報告するほか、横断幕を掲げピッチを回って協力を呼び掛けています。

# ヴァンフォーレ甲府の地域貢献活動

## ヴァンくん体操



クラブマスコット・ヴァンくんが地域の幼稚園・保育園を巡回しています。「ヴァンくん体操」は地域の専門指導者が子どもの体の発育・発達を促すために考案した体操です。ヴァンくんと一緒に「ヴァンくん体操」を踊ることで、自然と楽しく体を動かし、子どもたちの成長の一助とします。さらに、ヴァンフォーレオリジナル紙芝居で、子どもたちと絵を通じてコミュニケーションを取っています。

## お絵かきコンテスト



生活協同組合パルシステム山梨との共催で、「ヴァンフォーレスポーツお絵かきコンテスト」を実施しています。

小学生以下を対象に、サッカーに限らずスポーツを題材に絵をかいてもらい、2017年度は、746通の作品が集まり、ホームゲームで展示しました。

## 支援学校訪問



知的障害や肢体不自由など、ハンデキャップを背負った子どもたちと交流会を開き、体を動かすことの楽しさを伝えます。また、交流会の一部を選手自身が企画・運営し子どもたちとふれあう時間を設けています。

## 病院訪問



病気で入院している子どもたちに少しでも元気や勇気を与えられるよう、地域の病院を訪問し、交流会を開いています。交流会は、プレイルームで開き、選手への質問コーナーをつくったり、選手がボールリフティングを披露します。プレイルームへ出てこれない子どもたちのためにも、マスコットや選手が直接病室を回り、ヴァンフォーレグッズなどをプレゼントして交流を深めています。

## ヴァンタスフェスティバル

ヴァンタスフェスティバルのヴァンタスとはヴァンフォーレ甲府として積極的に取り組んできた食育推進活動に体育・徳育・知育を含めたプログラムです。

このフェスティバルではサッカーだけではなく、『身近な田舎山梨』の特色を生かした「自然体験」、「農業体験」を経験していただき、色々な感性を養ってほしいという思いもあります。

またサッカーを通して他県の選手との交流、サッカー仲間を全国各地に広めてほしいという狙いもあります。





## スタジアム建設に向けて

2014年、フットボール専用の総合球場の建設に向けて、ホームゲーム時などに署名活動を行い10万人近い署名が集まり県に提出しました。

県は有識者10名からなる「総合球技場検討委員会」を発足。委員会では6回の調査・検討の中で、球技場の機能・規模、建設場所、建設時期等を審議し、甲府・県当局に提言しました。

県はこれを受けて、2017年7月に小瀬スポーツ公園南側への建設が適当であると表明。さらに今後は、本県にふさわしい総合球技場の整備について検討し、基本計画の策定を行っていきます。

また、(一社)山梨県サッカー協会、山梨県ラグビーフットボール協会、山梨県アメリカンフットボール協会、(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブでは、「夢見る総合球技場」をテーマに絵画・作文を募集。両部門合計で632点の応募があり、大賞受賞者はヴァンフォーレ甲府ホームゲーム時に山梨中銀スタジアムにて表彰いたしました。



絵画大賞作品

## スタジアム建設に向けて

### 山梨学院大学

2009年2月、ヴァンフォーレ甲府と山梨学院大学は、相互の発展および地域社会貢献活動を目的に業務提携をしました。サッカー競技者および指導者の育成をはじめ、食育、教育、環境(エコ)等の文化・社会的な活動にも取り組んでいます。

また、研修の一環として山梨学院大学長倉ゼミの学生によってキックターゲットの準備・運営・撤収を行っていただいています。



2013年より弊クラブ社員をスポーツビジネスの授業の講師として派遣しています。

### 山梨大学

山梨大学とは2009年11月、医学部グラウンドを使い、スポーツ振興と地域貢献を図る旨の覚書を結びました。

ヴァンフォーレ甲府がグラウンドを芝生化し、グラウンド管理棟を建て大学側に寄贈。これを受け、トップチームの練習場として使用しています。



# 一般社団法人ヴァンフォーレススポーツクラブ

VENTFORET SPORTS CLUB

ヴァンフォーレ甲府をより強化する中長期計画の一環として一般社団法人「ヴァンフォーレススポーツクラブ」を設立し、4月からスクールや普及活動、さらには他のスポーツを取り入れた県民の健康づくりなどの活動を行い、「総合型地域スポーツクラブ」として、事業展開していくことになりました。

ヴァンフォーレ甲府はこれまでの流れを見ると経営危機から再建できたことが、第一ステップ、第二ステップはJ1に昇格で飛躍してきましたが、第三のステップアップに向けた次の一手として社団の設立に踏み切りました。

2017年からスクール部門と普及活動を株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブから移行して拡充を図り、今後はU-12、U-15を移行、最終的にはU-18とアカデミー全体を移行させ、トップチームに地元選手を送り込めるような育成組織に充実させる計画です。

サッカー以外の他のスポーツを取り入れ地域貢献活動や国際貢献活動も行い、4月からは「アジリティ&ラン」というランニング教室やヨガの教室を展開しています。

また、食育、指導方法、コンデショニングなどの「講習会」。ランニング、駅伝、ラグビー、サイクリングなど他のスポーツとの「交流やイベント」。キッズ、小学校などに選手、コーチが訪問する「巡回教室」。海外の子どもたちとのホームステイ、交流試合、指導者派遣、指導者受け入れなどの「国際交流」。等々の活動を拡大していき「総合型地域スポーツクラブ」を目指していきます。

## ヨガの時間



健康をサポートすることを目的に平日の夕方やホームゲーム開催時に月2回のペースで中学生以上の方を対象に「ヨガの時間」を開催しています。

ハードな体幹トレーニングのようなパフォーマンスアップが目的ではなく、自分の身体と向き合いながら、それぞれのテンポで身体を動かし身体の柔軟性をアップさせたり、心身のリラクゼーションを目的としています。参加費は500円/1回でお子様連れでもクラブスタッフが対応するので、安心気軽に参加出来ることも特徴です。

## アジリティ&ラン



トップチームのフィジカルコーチを中心に専門的な角度から走る基本動作を習得する事業です。アジリティでは、身体をもっと素早く動かしたい。自分が持っている力を最大限に発揮するために敏捷性を高める身体の使い方や素早い方向転換ができるように、タニラダーを使ったエクササイズを行ない、ランでは走るのが遅い、もっと速く走りたいという子を対象にスピードアップのために必要なランニングフォームから改善していきます。

## サッカースクール



ヴァンフォーレサッカースクールは、県内6会場で年中～小学6年生、女子を対象に「明るく、楽しく、元気良く!!」を合言葉に活動しています。2004年に開校されたサッカースクールでは現在、約540名のスクール生が、楽しくサッカーを学んでいます。

経験豊富なコーチ陣がサッカーを通して、身体を動かす事の楽しさ、サッカーの技術や戦術はもちろん、社会に出て通用する人間性を養うことも大切にしながら活動しています。

## ヴァンフォーレ山の都駅伝

一般社団法人甲府青年会議所と共催で幼児～小学6年生までの子ども達を対象とし、幼児・児童の健やかな成長と、地域スポーツの振興に寄与すること、参加する子どもたちの友情の輪を広げ、健康増進と体力の向上を図ると共に、生涯スポーツの普及を目指しヴァンフォーレ甲府のホームスタジアム「山梨中銀スタジアム」を中心とした園内で実施致しました。

運動経験が豊富な子どもだけでなく、運動が苦手な子どもでも気軽に参加できるようにと走行距離を短く設定し113チーム565人の参加を頂き大会を実施いたしました。



## セカンドキャリアサポート

クラブが歴史を積み重ねていく過程には、数多くの選手たちの存在があります。選手たちは移籍などを繰り返しながらも最終的に「引退」という時を迎えていきます。そこから、それぞれのセカンドキャリアという新たなステージに向かっていきます。一般社団法人では、引退後の選手たちとの「繋がり」を大切に彼らの活動を微力ながらサポートしていきます。本年はその1つの事業として「ヴァンフォーレレジェンドマッチ」を行い、選手・サポーター・スポンサー・クラブの絆が更に深まるイベントとなりました。



「ヴァンタス実育山梨」は、ヴァンフォーレ甲府が取り組む食育・体育・知育・徳育の活動を総称して名付けたプログラムです。

この活動は、ヴァンフォーレ甲府オフィシャルスポンサー企業や各ホームタウンとの間で教育的な観点を意識して展開するものであり、地域や家族の絆づくり、また、実りある人を育み「つよくいきる」子どもを育て、「やさしくくらす」ことのできる山梨県の地域活性化に寄与することを目的として活動しております。

### 小学校巡回スポーツ教室



小学校の体育の授業を対象とした巡回スポーツ教室では、「スポーツの楽しさ」や「スポーツによる教育的側面」などを十分に意識した活動です。

ヴァンフォーレ甲府の専属コーチが小学校の授業で講師を務めスポーツの楽しさや生涯にわたって身体を動かすことの素地を養います。また集団で活動する中で「思いやり、協調、尊重」などの大切さを伝えています。

#### 2017年 巡回校一覧

No.	学校名	人数	No.	学校名	人数	No.	学校名	人数
1	笛吹市立境川小学校	25	9	都留市立旭小学校	26	17	都留市立東桂小学校	118
2	甲斐市双葉西小学校	54	10	南アルプス市立若草南小学校	58	18	南アルプス市立白根源小学校	59
3	中央市立玉穂南小学校	222	11	南アルプス市立若草南小学校	45	19	甲斐市立敷島北小学校	105
4	中央市立玉穂南小学校	111	12	北杜市立泉小学校	261	20	大月市立鳥沢小学校	21
5	甲斐市立竜王東小学校	131	13	甲斐市立双葉西小学校	80	21	南部町立万沢小学校	30
6	甲斐市立竜王東小学校	142	14	甲斐市立双葉西小学校	25	22	甲府市立中道北小学校	44
7	甲斐市竜王西小学校	106	15	大月市立初狩小学校	70	23	甲府市立山城小学校	175
8	北杜市立高根北小学校	25	16	甲斐市立敷島北小学校	101			
								全23回 合計2,034人

### ヴァンフォーレ夢のチカラ



ホームタウン活動の一環として、ヴァンフォーレ甲府の選手が小学校を訪問し、児童とのふれあい活動を通じて、ホームタウンの子どもたちの夢を育み、健全育成に寄与することを目的とします。また選手がこの活動を通じて、社会貢献活動への理解を深めるとともに、地域に根差したクラブづくりを推進し、地域に親しまれ、愛されるクラブづくりを目指すことを目的とし選手が自らの小学校時代を振り返りながら、プロサッカー選手という職業を目指したきっかけ、苦労したことやつらかったこと、目標を成し遂げるために大切なこと、心構え、日常生活の過ごし方、支援者の感謝などを子どもたちに伝えます。



### ヴァンフォーレご飯のチカラ



プロスポーツ選手が「アスリートの食事」というテーマのもとに「食の大切さ」を伝えます。授業では児童全員で身体を動かし運動が心身の健康に繋がると同時に食欲を向上させ、しっかりとした食事をすることが活力のある生活を生み出すことを体感してもらいます。

また、座学では選手自身の経験談を交え好き嫌いをせずバランスの良い食事をすることが大切なことを伝えています。



### ヴァンフォーレ仕事図鑑



学校側の希望するテーマに沿ったOB選手、クラブスタッフが学校を訪問し、職業に関する話を行うことで仕事を知り、児童の職業観や勤労観を養う。特にプロサッカー選手を終え、セカンドキャリアに進んだOB選手たちがプロサッカー選手時代から現在の仕事に就くまでを語る機会では、選手を引退したからこそ見える、感じる社会の厳しさ。その中で、過去に得たもの、これから必要なものを経験談と共に子どもたちに話すことで「自分自身の振り返り」「夢、目標を持つことの大切さ」「ただ何となく過ごすことの勿体なさ」を知るきっかけ作りを目的としています。



## 国際交流活動

2015年、ヴァンフォーレ甲府とオフィシャルスポンサーの株式会社日建は国際交流事業でパートナーシップを結び、おもにASEAN諸国で人材やスポーツの交流を進めていく構想を発表しました。同年2月にラオスでサッカー教室を行ったことを皮切りに同年6月には、新たにオフィシャルスポンサーの株式会社はくばくもカンボジアでの農業開発支援という形で加わり3社で2016年2017年と2年連続でカンボジア・バタンバン州にてサッカー教室を開催いたしました。

一般社団法人設立1年目の本年はカタール・ドーハで開催されたアスパイアアカデミー遠征を企画運営し、山梨県のPRやスポンサー企業の販路拡大協力などを行いました。



## ふれあいサッカー教室

地域スポーツ振興活動の一環として、グラウンド協力を頂いている山梨大学と共催で「ヴァンフォーレふれあいサッカー教室」を開催しています。発達に障害を抱えている子どもや発達のゆっくりな子どもたちを対象に、サッカー教室を通じ、スポーツの楽しさを味わうとともに、「できる」事の喜びや何事にも諦めずに挑戦することの大切さを伝えています。



## ヴァンフォーレふれあいカップ

精神疾患及び知的障がいをもつ方々のフットサル大会です。スポーツ振興と保健福祉の普及・啓蒙を図り、社会参加を促進すると共に、山梨県において障がい者フットサル大会を定着させることを目的に開催しています。



## ブラインドサッカー

山梨県人権啓発活動ネットワーク協議会(法務局、県、甲府市、人権擁護委員連合会)から人権ユニバーサル事業(障害者等の人権課題をテーマとした人権啓発事業)の委託を受け、障害のある人への理解を深める機会として、ブラインドサッカー体験教室を行いました。

県内のブラインドサッカーチーム、山梨キッカーズ協力のもと、プレーの方法等を説明いただき、試合の体験を行いました。

また、アカデミーコーチによる通常のサッカー(ミニゲーム・トレーニング等)も併せて行い、ブラインドサッカーとの違いや共通点等を学びました。



## わくわくシニア健康運動教室

地域の人たちが、介護を必要としない健康なお年寄りになっていただくため、各会場で運動し、健康づくりや仲間づくりを推進すべく、2007年度から「ヴァンフォーレ甲府シニアわくわく健康運動教室」と題し、ボールを使った運動を中心に、様々なプログラムに取り組んでいます。

各自治体からも協力をいただき、クラブと自治体(ホームタウン)が一体となって、地域住民の生活に新しい喜びをもたらすことができるよう取り組んでいます。

### 2017年 会場一覧

会場	実施日	会場	実施日
石和清流公園芝生広場 笛吹市(2008年~)	09月27日	山梨大学医学部G 中央市(2010年~)	10月26日
	10月04日		11月02日
	10月11日		11月09日
	10月25日		11月16日
	11月01日		11月30日
島上条公園多目的コート 甲斐市(2009年~)	11月07日	三ツ峠フットサルコート 西桂町(2014年~)	年度内開催予定
	11月14日		
	11月21日		
	11月28日		
	12月05日		



# 日本サッカー協会「モデルFA」

JFA MODEL FA

ヴァンフォーレ甲府では山梨県サッカー協会(YFA)と日本サッカー協会(JFA)の協働を図り、山梨県内における新たな育成システムの確立に努めています。

JFAユースディベロップメント体制の「モデルFA」とは？

日本サッカー協会(JFA)・Jリーグ・各地域協会(FA)との指導体制の共有化を図ることが実現でき、日本サッカー協会が掲げる「JAPAN'S WAY」の実現に向けオール・ジャパンの体制を構築できる可能性に繋がる取り組みです。

## トレセン活動・指導者養成

「日本サッカーの強化・発展のため、将来日本代表選手となる優秀な素材を発掘し、良い環境・良い指導を与えること」を目的に始まったトレセン活動。山梨県においては、保坂不二夫アカデミーアドバイザーが山梨県ユースダイレクター及び、JFAインストラクター(関東サブダイレクター)に就任、その他にも各年代にアカデミーコーチを派遣し更なる発展を目指し活動しています。



## L&Gハッピーサッカー教室



L&Gはレディース&ガールズの略称、山梨県内の女子(女性)のスポーツの普及、サッカーの普及を目指し、フェスティバルを開催しています。

## キッズサッカーフェスティバル



山梨県内6地域で開催しています。各地域の園児(年少)～小学校3年生の子どもたちを対象にしたサッカー教室です。サッカー経験を通してスポーツの楽しさを伝えるとともに、仲間づくりや子どもたちのコミュニケーション育成の場として各会場で楽しいフェスティバルが開催されています。

## JFA「夢」フェスティバル



山梨県サッカー協会と共催し、幼児からシニアまで幅広い世代を対象にしたフェスティバルを開催しています。サッカーやスポーツの楽しさを味わってもらい、生涯にわたってスポーツに親しむことができる基礎づくりや、スポーツを通しての心の育成を図ります。

## キッズ巡回サッカー教室



山梨県内の幼稚園・保育園を巡回してサッカー教室を行っています。サッカーを入り口にして、子どもたちが様々なスポーツに取り組めるようなきっかけづくりをしています。体を動かすことの楽しさや爽快感を伝え、積極的に外で体を動かして遊べるような楽しい時間を提供しています。年間約100園を巡回しています。



## 地域で育てる子どもたち

ヴァンフォーレ甲府のアカデミー(育成組織)は、普及部門として園児(年中・年長)、小学1~6年生によるサッカースクール、育成部門として小学生によるU-12チーム、中学生によるU-15チーム、高校生によるU-18チームで構成されます。各カテゴリーにおいて、子どもの成長過程に合った指導を行い、トップチームを頂点に見据えた、一貫指導体制を敷いています。さらには、ここ山梨から世界で活躍する選手を輩出できるように努めています。



Jリーガー

32名

高校生

28名

中学生

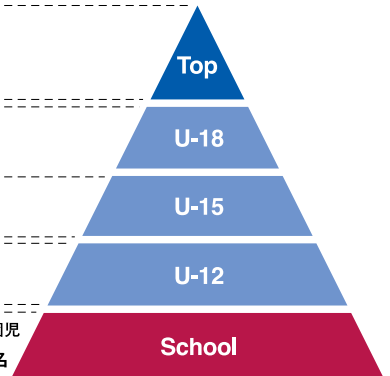
66名

小学生

45名

小学生&園児

533名



## 八田河川敷グラウンド・クラブハウス

南アルプス市にあるU-18・U-15・U-12・サッカースクールが使用しているグラウンド。照明施設・ネット完備の一面人工芝グラウンドで、2008年春に完成しました。



### U-18



### U-15



### U-12



## 2017年 主な成績

- U-18** 第41回 日本クラブユースサッカー選手権(U-18)関東大会 決勝トーナメント進出
- U-12** JA全農チビリンピック2017関東大会 決勝トーナメント進出

- U-15** 2017高円宮杯 第29回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 山梨県大会 優勝



キトーは、あらゆる産業の現場で求められる「重いものを持ち上げ、運び、固定する」作業に不可欠なマテリアル・ハンドリング事業を通じて、安全かつ効率的な製品を提供し、社会基盤とインフラの整備に貢献しています。1932年に東京・大森で創業し、山梨県昭和町への工場全面移転を経て、この11月8日で創業85周年を迎えました。

### 社会貢献活動の基本理念

キトーは社会の一員としての企業の責任を忘れることなく、社会とのコミュニケーションを充実・強化し、社会と共に繁栄を目指し地域社会・国際社会における社会貢献活動に取り組みます。

### 活動報告

キトーグループでは、さまざまなボランティア活動を展開しています。タイの子会社サイアムキトーは、工場から5キロほどのマングローブ林で、植林イベントを開催しました。高波や熱帯低気圧が発生したときには、防波堤や防風林の役割を果たすマングローブ林。従業員とその家族60名が参加し、マングローブを植えました。



# KITO

株式会社キトー 本社工場

〒409-3853

山梨県中巨摩郡昭和町築地新居2000

TEL.055-275-7521

URL.<http://kito.com/jp>

## がんばれ! ヴァンフォーレ甲府

キトーは『地域社会に貢献する』という同じ理念を持つ、  
ヴァンフォーレ甲府を応援しています。

# 2017 VENTFORET KOFU OFFICIAL SPONSORS

スポンサーの皆さまのご支援に心から感謝申し上げます

## ユニフォーム



山梨中央銀行



## 練習着



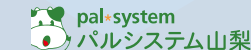
## 地域交流ウェア



## ユニフォームサプライヤー



## グッズパートナー



## 地域パートナー

明治安田生命 甲府支店

## コミュニケーションパートナー

ドコモCS 山梨支店

## フェアプレー



## ピッチ看板

浅川熱処理  
アポーグループ  
アドブレン社  
アルプスワイン  
印傳屋 上原勇七  
エステイキ  
オキノ  
甲斐日産自動車  
キトー  
金精軒製菓  
グローバルハウス  
DCMくろがねや  
コイケ  
小泉

甲州リハビリテーショングループ  
甲府キンダイサービス  
甲府警備保障  
甲府商工会議所  
甲府信用金庫  
甲府ビルサービス  
甲府富士屋ホテル  
KOKUSAI-GROUP  
坂本建運  
サニカ  
サンキムラヤ  
サンニ子印刷  
山日YBSグループ  
JAグループ山梨

シミズオクト  
清水建設  
清水工業  
住友電工デバイス・イノベーション  
生活協同組合パルシステム山梨  
セコム山梨  
セブーン・イレブ・ジャパン  
タンザワ  
都留信用組合  
帝京科学大学  
テレビ山梨  
内藤ハウス  
日医工山梨グループ  
日建

日本軽金属  
日本ネットワークサービス  
ネオシステム  
ネットヨタ甲斐  
萩原ボーリング  
早野組  
富国生命保険相互会社  
ベルクラシック  
富士観光開発  
ホテル鐘山苑  
ホンダカーズ山梨  
マルアイ  
メモワール  
ハケ岳リゾートアウトレット

ヤマト運輸  
山梨ガーデン  
山梨学院大学  
山梨交通グループ  
山梨信用金庫  
山梨中央銀行  
山梨日日新聞社  
山梨文化会館  
山梨放送  
リコージャパン  
梨北農業協同組合  
YSKe-com  
ワイ・シー・シー  
YBST&L

## ベンチ広告

ダイタ  
横浜家系ラーメン大黒屋  
山梨中央銀行

## 担架広告

大丸金属  
日医工山梨グループ

## カート看板

スブランドホテル内藤

## 砂場保護シート

ウィル 天鳥 桂精機製作所 三栞建設

## ヴァンくん

アシストエンジニアリング

## バックスタンドバナー

クスリのサンロード 武田広告社 内藤家具インテリア工業 西東京予備校 明光義塾 メディアブレイン

## 応援定期預金

甲府信用金庫 都留信用組合

## ベンチ前看板

シッパス にこにこクリニックこでら小児科 フジオ ニュー平和グループ

## 第4の審判ベンチ広告

いちやまマート

## サポーターズスタッフ ピブス

ラボ・テック

## 担架隊 ピブス

ことぶき整形外科

## ボールパーソン ピブス

タカギ

## メインスタンドバナー

勝沼醸造 協和エクシオ So-net 武田広告社 ナカコミ建設 神州一味噌

## メインスタンドコンコースバナー

ウイングファット 近藤ニット 山梨日野自動車  
エリジユス 中央歯科医院 空海  
カーロファーム フージャースコーポレーション 向山塗料

## ボール台

角屋ハウジング

## エコパートナー

はくばく 山梨中央銀行 山梨信用金庫

## メインスタンド最前列バナー

日本連合警備 三井住友海上山梨支店 ミツ輪産業

## その他のスポンサー

ココフーズ  
スポーツデポ  
田丸  
日清オイリオグループ  
濱商  
富士野屋タ亭  
山梨県交通安全協会  
山梨県法人会連合会  
らーめん食堂れんげ  
武田食品

## サポートカンパニー

アウゲン田辺眼科  
美容室ZELE  
ブルーアース  
古屋法律会計事務所  
ホテル神の湯温泉  
丸十山梨製パン  
湯めみの丘  
薬石の湯 瑰泉

